

平戸

令和2年 9月30日
横浜市立 平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町 542 番地
TEL045-821-2329



後期の教育活動に向けて

学校長 菅原 久忠

「校長先生、空を見て。雲がぜんぜん見えないよ。」「うわあ、秋晴れだね！」

今週の月曜の朝、登校してきた子どもたちとの会話です。登校時、子どもたちを迎えに正門前に出ると、爽やかな風が吹いてくるようになりました。秋を感じる季節となりました。

さて、9月26日（土）、5年生が三浦半島、長浜海岸で「日帰り体験学習」を実施してきました。当初予定していた伊豆子浦での宿泊体験学習の内容を可能な限り生かしたいと考え、子どもたちと共に準備を重ねてきました。往復の交通手段は観光バスの利用とし、座席の間隔を予定より広く取るために台数を増やしました(増車分の費用は横浜市が新型コロナウイルス感染症対策として負担します)。保護者の皆様のご理解とご協力をいただいたことで、日帰り体験学習を実施することができました。ありがとうございました。

感染予防のためとはいえ、計画段階から活動が制限され、子どもたちにとって意欲を継続させていくことが大変なのではないかと心配していました。しかし、子どもたちは、体験学習実行委員を中心に、最後まで粘り強く取り組んでいました。直前に発生した台風等の気象状況の影響もあり、カヤック体験やキャンプファイヤー等の活動を一部変更して実施しましたが、学年のめあて「楽しく 協力 安全に 仲を深める三浦にしよう！」に向けて、自分たちで主体的に楽しもうという気持ちがぐんぐん伝わってきました。これから、めあてを振り返りながら成果と課題を整理し、後期の活動に生かして行って欲しいと願っています。

学校全体に目を向けると、これから「HSF（平戸スポーツフェスティバル）」に向けての準備が本格的に始まります。例年実施していた「運動会」も感染予防のために限定的な活動となっていますが、すでに6年生が中心となってHSFを盛り上げるために取組を始めています。例年のような声を出し合う応援スタイルではなく、応援グッズを工夫することで盛り上げようとするなど、子どもたちは主体的に感染予防を意識した取組を考えています。

後期に向けて、人とのつながりを大切にし、どうすればより皆が楽しく安心して活動できるかを、子どもたちのアイデアも生かしながら取り組んでいきます。